

1 治安情勢

チリ内務省の犯罪統計によると、2012年中の被害認知件数は前年比9.5%減少し、重要犯罪の罪種別では強盗が54,092件、引ったくりが27,572件、住居窃盗・自動車盗が215,379件、傷害が105,733件、殺人が483件、婦女暴行が3,275件と発表された。

これら重要犯罪認知件数を地域別で見ると、首都圏州が258,215件と圧倒的に多く、次いで第5州（バルパライソ州）が67,591件、第8州（ビオビオ州）が63,478件となっているが、人口比率からすれば第2州（アントファガスタ州）が最も被害率が高く、次いで第1州（タラパカ州）、第3州（アタカマ州）が続く。

また、アディマーク社による国民に対するアンケート結果でも、昨年下半期は36.6パーセントの国民（家庭）が盗難被害に遭った、若しくは同未遂被害に遭ったと回答しており、昨年上半期の39.3パーセントを下回る結果となった。

この他、第9州（アラウカニア州）におけるマプーチェ族の紛争についても、2012年中は309件の破壊・放火事件等が発生しており、昨年の117件を大きく上回っていること、また同州を通行する一般市民にまで被害が及んでいる状況にあり、日本企業にも一部被害が及んでいる現状にある。

2 殺人・強盗等凶悪犯罪の事例

(1) 1月14日（月）22時頃、サンティアゴ市サンティアゴ区の路上において、現金輸送車を襲った強盗事件が発生した。強盗犯2人組がけん銃で警備員を脅し、同車両に積載されていた現金1億7,000万ペソを強奪して逃走した。

(2) 1月15日（火）未明、サンティアゴ市サン・ラモン区の路上において、現金輸送車を襲った強盗事件が発生した。強盗犯8人組がけん銃で警備員を脅し、同車両に積載されていた現金2億6,000万ペソを強奪して逃走した。その際銃撃戦となり、警備員2名、一般人1名が負傷した。

(3) 1月20日（日）10時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在のショッピングモール内の宝石店において強盗事件が発生した。強盗犯5人組が、鉄棒で開店中の宝石店のガラス窓を割って従業員を脅し、1億ペソ相当の宝石類を奪って逃走した。

(4) 2月7日（木）14時40分頃、サンティアゴ市ラ・システルナ区に所在のショッピングセンター内の宝石店において強盗殺人事件が発生した。強盗犯4人組がけん銃を使用して店員を脅し、抵抗する店主に対して発砲、死亡させた。

(5) 2月13日（水）11時頃、サンティアゴ市マクル区の路上において、現金輸送車を襲った強盗事件が発生した。強盗犯6人組がけん銃で警備員を襲撃し、同車両に積載されていた現金6百万ペソを強奪して逃走した。警備員2名が負傷、犯人の内4人が後刻逮捕され、1月に発生した現金輸送車襲撃事件との関与も調

べている。

(6) 2月24日(日)午後、サンティアゴ市サン・ベルナルド区に所在のショッピングモール内の宝石店において強盗事件が発生した。強盗犯6人組がけん銃と斧を持って宝石店に押し入り、ショーケースを破壊、駆け付けた警察官と銃撃戦となり、犯人2名を逮捕した。

(7) 3月9日(土)5時頃、サンティアゴ市サン・ベルナルド区に所在のディスコにおいて殺人事件が発生した。犯人は店内でトラブルを起こしたことで退店させられたが、後にけん銃を持って店に戻り、店員2名を殺害、3名が負傷した。犯人は後日逮捕された。

(8) 3月10日(日)22時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在のコンビニにおいて強盗事件が発生した。強盗犯4人組が押し入り、警備会社の制服を着ていた客の頭部をハンマーで殴打し頭蓋骨骨折の重傷を負わせた上、48万ペソを奪って逃走した。

(9) 3月16日(土)20時頃、サンティアゴ市ラス・コンデス区に所在のドイツ人会社重役方において強盗事件が発生した。強盗犯4人組が押し入り、ナイフ等で家人を脅し、金庫内の現金等を奪って逃走した。

3 テロ・爆弾事件発生状況

(1) 1月21日(月)2時頃、サンティアゴ市プロビデンスシア区に所在の乳製品会社前で爆弾事件が発生した。同社出入り口にプロパンガス入りのシリンダーと共に仕掛けられた消化器爆弾が爆発し、ガラス窓、出入り口が破壊された。人的被害は無し。

(2) 2月10日(日)0時30分頃、サンティアゴ市プエンテ・アルト区に所在の交番において爆弾事件が発生した。使用されたのは2キロの黒色火薬が入った時限装置付きの消化器爆弾で、爆発した際、警察官が負傷した。目撃証言により、発生後の30分後、犯人1名を逮捕した。

4 誘拐・脅迫事件発生状況

1月31日(木)未明、第2州(アントファガスタ州)アントファガスタ市において、ボリビア人及び鉱山関係者により13歳の少女が誘拐された。少女は隙をみて警察に通報し、無事発見、犯人1名が逮捕された。

5 対日感情

3月31日(日)18時10分から22時までの間、シーシェパードを名乗る約70名の若者が、当館正門前歩道上において我が国イルカ漁に反対する抗議活動を行った。

6 邦人被害

(1) 1月2日(水) 22時頃, 第5州(バルパライソ州) ビニャ・デル・マル市内のレストランにおいて, 在留邦人が知人と飲食中, 足下に置いていた財布, カメラ等在中の鞆を置き引きされた。

(2) 1月16日(水) 21時頃, 第1州(タラパカ州) イキケ市のバスターミナルにおいて, 邦人旅行者がトイレに行っている間, 網棚に置いてあった旅券, パソコン等在中の鞆を置き引きされた。また同人がサンティアゴ市に戻ってきた19日(土) 12時頃に, 市内地下鉄内で, ポケットに入れていたカード類をスリ盗られた。

(3) 1月20日(日) 13時30分頃, サンティアゴ市ビタクラ区に所在するゴルフ場付近で, 在留邦人が偽札の詐欺被害に遭った。タクシーでゴルフ場に向かったが, 到着した際支払った紙幣に関し, 運転手が「破損しているから交換して欲しい」と申し向け, 代わりに偽札を交付した。

(4) 1月23日(水) 16時頃, 第2州(アントファガスタ州) カラマ市内のバスターミナルにおいて, 邦人旅行者がバスチケットを購入中, 椅子の上に置いていた旅券, 現金等在中の鞆を置き引きされた。

(5) 1月30日(水) 午後, 第2州(アントファガスタ州) カラマ市からサンティアゴ市に向かうバスで邦人旅行者が移動中, 網棚に置いていた鞆からパソコンとデジタルカメラが盗まれた。

(6) 2月8日(金) 7時頃, サンティアゴ市内のバスターミナルにおいて, 邦人旅行者が見知らぬ男性に英語で話し掛けられ, その相手をしている隙に, 現金, デジタルカメラ, カード類が在中のポーチを置き引きされた。

(7) 2月22日(金) 16時30分頃, 第5州(バルパライソ州) バルパライソ市の丘陵地帯において邦人旅行者が散策中, 若い男に「時計を見せて」と声を掛けられ時計を見せたところ, 更に未成年風の男3名が現れ, カメラ等在中のリュックサックを奪われ, ズボンの後ろポケットを破られ, 中に入れていた現金等を奪われたもの。その際, 左肘に擦過傷を負った。

(8) 2月下旬頃, 第3州(アタカマ州) コピアポ市内に所在のホテルにおいて, 邦人出張者が室内にスーツケースをロックして置いていたところ, 同スーツケース内に保管していた現金が一部抜き取られ盗まれた。

(9) 2月28日(木) 19時頃, サンティアゴ市ビタクラ区に所在のレストランにおいて, 邦人出張者が知人と食事中, 足下に置いていた現金, 旅券, 携帯電話等在中の鞆を置き引きされた。

(10) 3月2日(土) 20時頃, 第2州(アントファガスタ州) カラマ市のバスターミナルにおいて, 邦人旅行者がバス待ちをしていたところ, スペイン語で話し掛けられているのに気を取られている隙に, ズボンの前ポケットに入れていた携帯電話をスリ盗られ, 更にバスに乗車して移動中, 網棚に置いていたカメラを置き引きされた。

(11) 3月3日(日) 14時頃, サンティアゴ市サンティアゴ区を走行中の地下

鉄内において邦人旅行者が移動中、ズボンのポケットに入れていた携帯電話をスリ盗られた。

(12) 3月6日(水) 14時頃、第5州(バルパライソ州)バルパライソ市の丘陵地帯において邦人旅行者が知人と散策中、後方から近付いてきた男2名に斜めがけにしていた鞆の袋部分を引っ張って引き千切られ、旅券、現金等在中の鞆を奪われた。

(13) 3月10日(日) 15時頃、第2州(アントファガスタ州)カラマ市のバスターミナルにおいて、邦人旅行者が知人とバス待ちをしていたところ、席を離れた隙に、空席上においていた旅券、パソコン、カメラ等在中の鞆を置き引きされた。

(14) 3月14日(木) 17時頃、第10州(ロス・ラゴス州)チロエ島において、邦人旅行者が宿泊する予定のホテルの部屋の前の廊下にバッグを置いて外出したところ、旅券、現金等在中の手帳を抜き取られ盗まれた。

(15) 3月30日(土) 未明、第10州(ロス・ラゴス州)プエルト・モン市において、邦人出張者が宿泊中の民家を留守にしたところ、1階窓ガラスを割られて空き巣に入られ、旅券、パソコン等を盗まれた。